

ホスピス緩和ケア週間 in TOKUSHIMA 2024

前夜祭 野外コンサート 令和6年9月28日(土)

野外コンサートは近藤内科病院〔ホスピス徳島〕緩和ケアガーデンにて行われました。200名を超える参加があり、あわ芸座「寿二人三番叟」、女声合唱団「鸞」、加地直子様・竹越かずゆき様「サクソとピアノ演奏」、ほんま連による阿波踊りを楽しまれました。(動画配信中:Youtube「若葉会 前夜祭」で検索)

パネル展 令和6年10月6日(日)～

スーパーセンターマルナカ徳島店、近藤内科病院ではホスピス緩和ケアパネル展を開催し、参加者にホスピス緩和ケアの啓蒙を行いました。(当院ホームページに掲載)



ほんま連阿波踊り



近藤内科病院



スーパーセンターマルナカ

サロンdeリハ クリスマスコンサート 令和6年12月24日(火)

クリスマスイブの12月24日(火)、病棟行事「サロンdeリハ」の特別イベントとして、クリスマスコンサートを行いました。演者はラジオパーソナリティであり、わかばデイサービスでも定期的に演奏して頂いている、皆谷尚美さん。50名以上の方々が一緒に歌い、楽しまれました。(動画配信中:Youtube「若葉会 クリスマスコンサート」で検索)



2025年のイベント予定

緩和ケア病棟 季節の催し	その他の催し
2月 3日 豆まき、	3月、9月 たこ焼きパーティ
3月22日 お花見、5月連休 端午の節句、	7月27日 第16回わかば夏祭り、
7月 7日 七夕、9月16日 お月見、	9月 7日 ホスピス緩和ケア週間 in Tokushima 2025 (前夜祭・パネル展)
12月 キャンドルサービス&クリスマス会	12月24日 サロンdeリハ クリスマスコンサート

～お知らせ～

入院患者様の面会制限について(令和7年1月現在)
15:00~17:00(日祝日除く)の間で時間制限なく面会できます。

皆様からのご意見をお待ちしております

わかば通信に関するご意見・ご感想をお待ちしております。
本広報誌をより良くするために皆様からの率直なご意見をお寄せ下さい。[近藤内科病院 広報委員会]

近藤内科病院広報誌 わかば通信 第46版 令和7年1月吉日発行 発行元:近藤内科病院 広報委員会

コンパッショネイト・ホスピタル&シティ

近藤内科病院 院是

私たちは医療技術と心を磨き、患者の皆様が常に最良の医療が受けられるように全力を尽くします。

- ・命の質(QOL)を高める医療
- ・職員が楽しく働ける医療
- ・患者、家族の皆様が安心できる医療
- ・社会の進歩に貢献できる医療

コンパッショネイト・ホスピタルから広がる優しさの輪

新年明けましておめでとうございます。

この度、私たちは「コンパッショネイト・ホスピタル(思いやりのある病院)」、そして「コンパッショネイト・シティ(思いやりのある街)」をテーマに掲げ、地域医療のさらなる向上と社会全体の心温まるつながりの構築に取り組むことを決意いたしました。

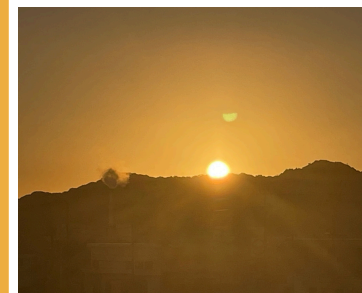
病院は、患者さまの命と健康を守るだけでなく、心のケアを大切にする場でもあります。一人ひとりの患者さまに寄り添い、痛みや不安を共有し、最良の医療を提供すること。それが「コンパッショネイト・ホスピタル」としての私たちの使命です。そして、思いやりの精神を病院から地域へ、地域から社会全体へと広げていくことで、すべての人々が安心して暮らせる「コンパッショネイト・シティ」を実現したいと願っています。私たちはこのビジョンを達成するために、医療従事者のみならず地域の皆様との協力を大切にしています。患者さまと信頼関係を築き、医療を超えた温かいつながりを地域社会の中で育てていくことが、本院の役割だと考えています。

これからも皆さまのご支援を賜りながら、思いやりで満ちた医療と地域社会づくりに取り組んでまいります。本誌を通じて、私たちの活動や取り組みに共感いただければ幸いです。

どうぞ引き続き、本院をご支援いただきますようお願い申し上げます。

院長 近藤 彰

病院のお正月



初日の出(日の峰山)



澄み切った元旦



お正月祝膳



グループホーム わかば書初め

病院機能評価

令和6年6月12日(水) 13日(木) 受審

公益財団法人日本医療機能評価機構における5度目の審査を受け高い評価でした。次世代医療機能評価のビジョン「医療機能評価を通じて、患者が安心して医療を享受でき、職員が働きやすく、地域に信頼される病院づくり」に貢献する。」ということで審査の目標が当院の院是と同じ内容でした。



評価結果 (2024年)

Sランク: 4 Aランク: 70 Bランク: 1

S評価

1. 病院の療養環境
2. 禁煙 (病院内の禁煙はもちろんこと、職員全員が非喫煙者である。)
3. リハビリテーション機能 (サロンdeリハ、笑いヨガなどの集団リハビリ)
4. 栄養科

S評価 1. 病院の療養環境

全体的にガラスを多く使用し、採光に優れ、明るく暖かい雰囲気がある。患者同士が団欒できるよう工夫されている。白を基調とし、整理整頓されており、清潔感にあふれている。



S評価 3. リハビリテーション

慢性心不全の緩和ケア ～心臓リハビリテーション・ACP～

高齢化社会を迎えたわが国では、慢性心不全が急増してパンデミックといわれています。慢性心不全の予後はがんよりも厳しく緩和ケアの提供が求められています。近藤内科病院では、慢性心不全に対して心不全基本薬の内服と心臓リハビリテーション(心リハビリ)によって予後の改善を図っています。また同時にACP活動も行っています。

心リハビリとは、心疾患の患者さんが、体力を回復し自信を取り戻し、快適な家庭生活や社会生活に復帰するとともに、再発や再入院を防止することを目的として行われます。

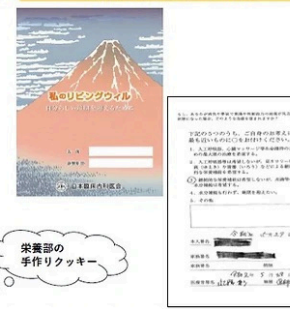
心疾患の患者さんは、心臓の働きが低下し、運動能力や体の調節の働き・認知機能が低下しています。心リハビリで適切な運動を行うことで、筋力や体力が徐々に回復し、以前と同じように日常生活が送れるようになる可能性が高まります。当院では、徳島赤十字病院を中心とした地域連携に参加しており、心疾患の患者さんを受け入れ、積極的に心臓リハビリを実施しております。継続した心リハビリを行うことで、心血管病による死亡率や再入院のリスクが減少して自宅に退院されています。

サロン de リハビリ

リハビリテーション部+看護部+栄養部の多職種連携入院患者全員にサルコペニア、フレイル予防して集団運動療法、認知機能課題を週2回1時間程度実施している。



私のリビングウィル



心臓リハビリテーション』の対象

- ①急性・慢性心不全
 - ②心筋梗塞後
 - ③冠動脈インターベンション後
 - ④TAVI(経カテーテルの大動脈生体弁植え込み術)後
 - ⑤心房細動カテーテルアブレーション術後 など
- ※心臓リハビリテーションは入院・外来・在宅でも行っています。

日本医療機能評価機構 評価S 近藤内科病院 リハビリテーション部

S評価 4. 栄養

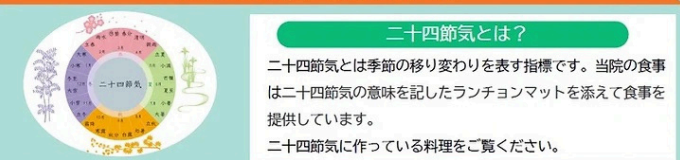
緩和ケアの栄養治療

栄養科 理念

医食同源の考えのもと、患者様個々に応じた食事を提供するために栄養科職員が工夫しています。食材は地産地消を旨に旬の食材を用い、美味しいお料理を楽しんでいただいています。料理を作る心は、思いやりを持って患者様とコミュニケーションを図ることです。

がん末期の患者さんにおいても食事がおいしいと食べることができ、元気になるということが分かりました。高齢化社会での食事は、様々な病気を持つ高齢者がしっかり食べ、運動することでフレイルを予防しようというのが最近の考えになっています。どのような食事がいいのかわかりませんが、具体的にはタンパク質1.3g~1.5g/kg/日を摂取するのが推奨されています。

近藤内科病院 病院食の工夫



日本医療機能評価機構 評価S 近藤内科病院 栄養部

2024年 イベント

第15回わかば夏祭り

令和6年8月25日(日)

厳しい残暑の中わかば夏祭りが開催されました。例年通りオープニングは「津田の祭り太鼓」で、可愛い子供達の演奏で参加者みんなが元気をもらいました。そして今年は初めてカラオケ大会を行いました。若葉会が行っている嚙下障害対策・オーラルフレイル対策の一つとして大きな声で歌うことを推奨しています。



ホスピス緩和ケア週間 in TOKUSHIMA 2024

10月12日の「世界ホスピス緩和ケアデー(World Hospice & Palliative Care Day)」に合わせて、日本ホスピス緩和ケア協会では10月6日~10月12日を「ホスピス緩和ケア週間」とし、全国のホスピスで様々なイベントが開催されました。

徳島県では「ホスピス緩和ケア週間 in Tokushima 2024」と題して、「前夜祭野外コンサート」「緩和ケアパネル展」を開催しました。